



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 52-1111 発行 6月17日 No.224

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康的の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ：鳥 ホオジロ：木 イチョウ



第6回町長杯卓球大会

町卓球クラブ（会長 可児由紀子）が主催する第6回町長杯卓球大会が、去る6月5日、町体育館で開かれました。

大会では、小中学生や一般の27チーム、81名が熱戦を展開し、随所で豪快なスマッシュが決っていました。

あなたの家はだいじょうぶですか？

こんなにある町内の災害危険箇所

危険度 種別	A	B	C	計
地すべりが発生する 恐れのある箇所	1	3	—	4
ガケ崩れが発生する 恐れのある急傾斜地	2	6	48	56
土石流が発生する恐 れのある箇所	—	7	27	34
決壊の恐れがある 溜池	—	1	4	5
計	3	17	79	99

A……危険度の非常に高いもの。例えば、台風等による降雨時には常に避難を要する最も危険な箇所。

B……危険度の高いもの。例えば、降雨の状況によっては避難を要する危険箇所。

C……危険なもの、例えば大雨警報が発令されるなど降雨の状況により危険が予想される箇所。

不意に訪れる恐ろしい土砂灾害
平地が多く、起伏の激しい日本では、不意に襲ってくる土石流、地すべり、かけ崩れなどにより多くの尊い命や大切な財産が奪われています。

本町にもこうした危険が迫っています。
いる地域が少なくありません。このため町では、雨期を前に五月二十五日、町内全域の災害危険箇所調査を実施しました。

これは、危険箇所を事前に点検し、現場の状況を把握して、灾害の未然防止や万一の場合の被害を最小限に抑えようとしていたものです。

消防関係者や警察官、公民館長など約三十名が参加しました。調査の結果、今年度の災害危険箇所は表のとおり九十九箇所が指定されました。しかし、まだ多くの危険箇所があると思われます。自宅周辺の山やかけ川などの危険場所はどこか、どうやって避難するかといつた防災知識を日々ごく大切につけおくことが大切です。

町内の災害危険箇所を調査

今年度は99箇所を指定



全地区	1地区	2地区
中央公民館	三股小体育館	三股中体育館
武道体育館	第1地区公民館	第2地区公民館
体育館	王原児童館	稚児童館
勤労者体育センター	高畠集落センター	前田集落センター
豪雨や台風の気象情報に注意し、	小鷲集落センター	三原コミュニティセンター
土地柄、町内にはまだ多くの危	勝岡小体育館	木原児童館
き状況をよく知つておくとともに、	第6地区公民館	上原児童館
避難所があると思われます。	高畠集落センター	上米児童館
身につけておくことが大切	第5地区公民館	長田小体育館
です。	高畠集落センター	小園宮農研修センター



26名が消防人の仲間入り

町消防団（団長中村修一、団員百五十名）は、五月十二日勤労者体育センターで新入団員としての自覚を高め、消防人としての責務を認識するため行式では、新入団員一

人ひとりに中村団長から辞令が交付されたのち、新入団員二十六名を代表して出水勝己団員（機動本部所属）が「私は、忠実に日本憲法及び法律を擁護し、不公平並に偏見を避け、良心に従つて忠実に消防の義務を遂行することを誓います」と力強く宣誓し、新入団員の消防人としての心意気を示しました。

つづいて、日本消防協会会長表彰や県知事表彰等の伝達が行われた後、第三部がてきぱきとした動作で模範訓練を披露しました。

なお、新入団員及び被表彰者は次の方々です。

新入団員の所属、氏名
(敬称略)
第4部 中轟栗鶴中上出萩木野石水原健一信達正健一
第3部 大坪和正
第1部 出水勝己
機動本部

第7部 日本消防協会会長表彰
宮崎県知事表彰
宮崎県第5副部長川越和好
宮崎県消防協会会長表彰
第1部団員西岡辰嘉
第6部 副團長畠中和好
川指山福永今福西坂朝田碇上藤中宮
上宿下田吉村永村元倉平山村本村越
佳春秋俊雅良賢勝浩義秀敏信
浩浩博秀彦志一次博昭文文美夫稔一
文博



交通事故の二件に一件は交差点での事故 「止まつて確認」しましょう!!

只今、県下一齊に「止まつて確認」実践県民運動が実施されています。

交通事故で、止まつて確認さえすれば防げるのです。

近年、三股町でも一時不停止と確認不足による交通事故が多発しており、昨年中は、交通事故で、第一当事者が県下四十四市町村中、ワースト一位という不名誉な記録を残しました。

交通事故のない明るく住みよい町を作るため、自動車や単車はもちろんのこと、自転車や歩行者も交差点・道路を横断するときは、必ず止まつて安全を確認しましょう。





東高青少年赤十字を
～～～日本善行会が表彰

都城東高校（曾木重忠校長、生徒七百四十八名）の青少年赤十字は、このほど社団法人日本善行会から昭和六十三年度の青少年善行団体として表彰されました。同校青少年赤十字は、昭和四十五年四月に設立。以来、生徒会が自主的かつ学校と一体となって災害復旧活動や献血協力、道路等の清掃、老人ホームの慰問などボランティア活動を積極的に展開しています。

今回の表彰は、この不斷の活動が評価されたもので、受彰を機に一層の活躍が期待されます。



水難事故ゼロを願つて

祈願祭を開く

改造成工事を進めていた勝岡小学校が完成し、児童の水泳安全を願う祈願祭が去る五月三十一日行われました。

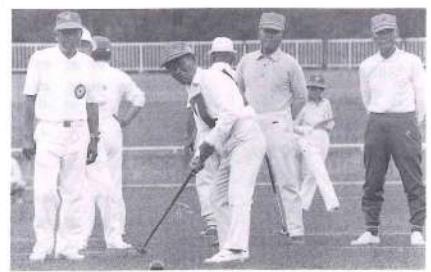
これは、水泳シーズンを前に小PTA（会長田上富雄）が開いたもので、関係者二十名が出席し、児童の水難事故防止を祈りました。新プールは、事業費約四千八百万円をかけた新型のアルミ製プールで、今夏から児童の体力向上に活躍することが期待されます。

町の花「さつき」を展示
町さつき会（会長山内利治、会員七名）による第二回さつき展が、さきほど役場ロビーで開催されました。これは、町の花「さつき」を広く観賞してもらおうと聞いたもので、会員が丹精して育てたさつき二十一鉢が三日間にわたって展示され、



来庁者の目を楽しませていました。

五月二十八、二十九日の二日間、県民スポーツの祭典「第四十二回県民体育大会」が県総合運動公園を中心に開催されました。両日とも五月晴れの絶好のスポーツ日和に恵まれ、本町からは陸上競技をはじめ十四種目、百六十七名の選手が北諸県郡代表として参加し、各種目に熱戦を開きました。



県体各種目で
熱戦を開く

本町から百六十七名
が出場

清潔 必ず手を洗いましょう。
食器、まな板、布巾などは、よく洗つて熱湯で消毒しましょう。とくにまな板は、細菌が群がる温床です。よく洗つて日光に当てて乾燥することが大切です。

迅速 食品を買つたら、で早く手際よく調理する。ことや、調理後なるべく早く食べることが肝心です。食べ残した料理は食卓に置いたままにしていて、ときに捨てるのも食中毒予防のポイントで

卓が、一瞬にして食中毒の悪魔にしひこまれては大変です。類によつては時間のうちに死亡するケースもある恐ろしい病気なのです。

家族そつて染まらるべ食卓が、一瞬にして食中毒の悪魔にしひこまれては大変です。次の一原則を守りましょう。

食中毒について

加熱と冷却 細菌は熱に弱く六十度以上で加熱されると、たいていのものは死滅します。



池田ミツさん（上新）は、五月二十八、二十九日に開催された県民体育大会ゲートボール女子の部に、三股チームのレギュラーとして出場。県体参加選手八千四百九十四人中、最高齢者でした。

結果は初戦で敗退しましたが、ドックを開始し、一年間で約百二十名の方が受診されました。すでに治療を受けたり、手術された方もおられます。

成人病は予防第一ですが、早期発見と同時に治療を進めなければいけません。ドックの検査は午前中だけ済み、その結果は一週間前後で通知することとしています。どうぞ御利用ください。

池田ミツさん（上新）は、五十六歳で、カラオケが好きで「大阪しぐれ」や「さざんかの宿」を上手に歌われます。



明治三十一年都城市の郡元町に生まれる。結婚して三股町へ。子供四人と孫七人、曾孫七人がいる。

紹介シリーズ
最高齢で
県体に出場した

池田ミツさん（90）

企業革命それは
社会保険加入

本年4月から、すべての法人事業所は加入が義務づけられました。加入についての問合せは、都城社会保険事務所（☎二三二一五七一）まで、お気軽にご相談ください。

